

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 令和8年2月28日					利用児童数 67名	回収数 43名
就労準備型放課後等デイサービス For happiness								
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28	12	1	2	日々の利用人数がよくわからないから、居残るスペースを活用し、詰め込んでいると思う。	スペースを広くできるよう工夫します。
	2	職員の数配置は適切だと思いますか。	31	4	1	7	先生達すごく頑張っています。無理しないように十分な人数が必要だと思います。人数不足かなから、常に職員が居るそうです。当日に確認して頂きたいことが出なかったり、子供が確認したいことがあっても声をかけづらい状況があるようです。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	8	2	3	専用椅子を使用してみても、両動きのしづさを確認。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	8	1	3	活動スペースや生活空間については、どうしても色んなイメージがあるが、そこを整理したうえで活用しているので、不足はありません。(もうワンフロア拡張などあればとても嬉しいです)	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37	3	2	1	先生達のおかげで、すごく成長し、感謝しています。兄妹で通っておりませんが、今とつやがいを思い出さないようです。特に兄はもう少し少し、しんちゃんにレザンしたようです。施設での習得なので仕方ない部分もあると思いますが、本人が望んでいる限り事や特性に合った支援からはずれている内容の事があります。	全体カリキュラムだけでなく個別学習時に合わせた療育の機会を上げてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	2	0	0	プログラムの内容を子どもたちから聞けないのが残念ですが、時間差で表現や行動ができるようになることを期待しております。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39	3	0	1	コミュニケーション能力と義務に期待しております。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	3	1	3		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	2	0	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	3	1	2	素晴らしい工夫があります	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	7	8	17		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	38	4	0	1	丁寧でありたいです	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	41	2	0	0		
	14	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1	5	1	今後希望します あったのかと知りませんが、交付できませんでした。機会があれば、ぜひ参加したいです。	
保護者 への 説明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	39	3	0	1	先生達と親身になってくださります アプリLINEでのやりとりがありとてもごこいいます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	2	1	4		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	3	0	0	先生達に感謝しています。皆さん優しく、気持ちがあっつてくれます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	18	7	8	10	こちら、気づかなかっただけかもしれませんが、機会があれば参加したいです。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	5	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	39	3	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	0	7	具体的にどのような管理をしているかはわかりませんが、備わっています。	
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2	1	15		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	3	0	18		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	2	0	9		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	29	2	1	11		
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	35	6	0	2		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	27	13	1	2	とても楽しみにしています	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	5	2	1	ハピネス以外の考えられません。 現状に満足して通わせていただいています。私も職員は皆さん優しくとあっており、安心して通っているようです。楽しんで通っています。いつもご支援いただきありがとうございます。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		For happiness		公表日		令和8年1月7日	
項目	チェック項目	はい		いいえ		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ	はい	いいえ		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1			15人日は個別サポートが必要で、多すぎるように感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			クールダウンできるスペースがほしい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2			クールダウンできるスペースを作る。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			定期的に会議を行っている	
	7	保護者向け評価書により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		LINEなどで気軽に話やすく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		起きた事を話せる環境	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		様々な観点で考える	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2		定期的に研修を受ける機会を作る	
適切な支援の提供	11	適切な支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		定期的に公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		一人一人にあった支援内容	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最高の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		職員間の意見交換	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1		支援会議で確認を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		細かな変化も記入	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		こどもの意見も尊重する	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		意見を尊重する	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		アイデアを出し合う	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		課題のついたプログラム	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		毎日支援会議を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	6	0		終了での情報共有	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		マンネリしないサービスの書き方	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		一人一人に寄り添う支援内容	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3	3		様々な面からのアプローチ	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	5	1		備品の統一	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		興味を持つ	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	2			特性を共有しておく
	28	学校の情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	3		イベント実施	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3			連携強化
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		先を見越したアプローチ	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3			連携強化
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1			子供と活動する機会が少ない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		職員間の情報共有	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と話し合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		きさいなコミュニケーションを大切にする	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4			行えていない
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		個別対応	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		寄り添った支援	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	1			保護者様と確認する場を作る
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、相談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2			必要な場合は関係者を変える
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、ゆきだいな同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1		懇談会実施	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	2		再発防止に気をつける	
	42	定期的に連絡等を行うこと、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2			連絡は早めに行う
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1		管理の仕方	
	44	得意のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2			子供に沿ったプログラムカード作成
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	6	0			地域に届く事業所
非常時の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0			研修などで事前に想定しておく
	47	事業継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0			避難訓練の実施
	48	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状態を確認しているか。	3	3			理解を高める
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2			かかりつけ医の把握
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や協議、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1			子供たちを登壇した環境設定
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1			安全は伝えたいべき
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2			今後に向けて対策をねる
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1			濃厚言いや相談に気をつける
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			保護者様の意見や同意を得ている

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	就労準備型放課後等デイサービスFor happiness		
○保護者評価実施期間	令和8年1月26日		令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	67名	(回答者数) 43名
○従業者評価実施期間	令和8年1月7日		令和8年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラムが充実している	季節に合わせてイベントを実施している 毎月のカリキュラムミーティングで色々な意見が出ている	就労に近いカリキュラムをどんどん取り入れていく
2	研修が充実している	社内での安全や虐待防止の研修を実施している 外部セミナーに積極的に申し込んでいる	研修を繰り返し、定期的な勉強会の実施を形にしていく
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	クールダウンスペースの確保	活動スペースの工夫が必要	パーテーションを利用してクールダウンスペースを確保する
2	外部機関とのより密な連携	療育の準備が多く、外部機関への挨拶訪問時間の確保が課題	業務効率・分担を細分化し、連携機関と関わる時間を増やす
3			